



光電管は、デザイン面には表示しないのが望ましい。オペレーション上どうしても必要な場合のみ表示可。

スペース内の文字は、「筑紫明朝体」を使用するのが最も望ましい。ない場合は、「ヒラギノ明朝」もしくは、「MS明朝」のいずれかをなるべく使用してください。

材質は、マット原反、もしくはマットコート印刷

①

PANTONE 7467

②

DIC 2056

②

DIC 2056(半調34%)

③

スミ

④

白

合計4版

透明(マド)